

# ヘアリーベッチ米栽培ごよみ

東播磨農業改良普及事業協議会  
東播磨ヘアリーベッチ米推進会議

品種	月旬	2月		3月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月		
		下旬	中旬	下旬	中旬	下旬	下旬	中旬	下旬	下旬	中旬	下旬	下旬	中旬	下旬	下旬	中旬	下旬	下旬	中旬	下旬	下旬	中旬	下旬	下旬	中旬	下旬
キヌヒカリ等早生(移植)	緑肥	春まき・覆土 「藤えもん」 3kg/10a		生育量調査			刈り取り すき込み ※生育量により調整 (★必ず生育量調査を実施)			田植え3週間前												秋まき 「寒太郎」、「藤えもん」 3kg/10a			*十分な排水対策		
	水管理						灌水			落水			入水			浅水			落水								
	作業			播種			育苗			代かき 田植え			田干し			中干し			出穂			収穫					
	施肥						基肥						(穂肥)														
	防除	JA水稻栽培暦に準じてください		JA水稻栽培暦に準じてください			JA水稻栽培暦に準じてください			JA水稻栽培暦に準じてください			JA水稻栽培暦に準じてください			JA水稻栽培暦に準じてください			JA水稻栽培暦に準じてください			JA水稻栽培暦に準じてください			JA水稻栽培暦に準じてください		

### <ヘアリーベッチの播種作業>

- ほ場準備
  - ①ヘアリーベッチは湿害に弱く、排水性のよいほ場、排水対策ができるほ場を選定する。
  - ②ほ場の表面排水を図るため、周囲溝等を設け、集水・排水性を高める。
  - ③土壌pHが低い場合は、生育不良となる場合があります。
- 播種
  - ①適期播種
    - ・秋蒔き: 10月下旬～11月上旬
    - ・春蒔き: 2月下旬～3月上旬
  - ②播種
    - ・耕起の際、碎土し過ぎないようにし、土塊はやや大きめの状態とする(土塊の隙間に種子が入る)。
    - ・春蒔き、乾燥しやすいほ場では、播種後に軽く覆土する。

◎兵庫県では、人と環境にやさしい環境創造型農業を推進しています。

◎安全・安心な米づくりのため、栽培履歴を記録しましょう。

### <環境創造型農業とは>

農業の自然循環機能の維持増進を図り、環境への負荷を軽減するため、土づくりを基本に、化学的に合成された肥料及び農薬の使用を慣行の30%以上低減する生産方式です。  
兵庫県における水稻の慣行基準は、化学合成肥料の窒素成分が8.5kg/10a、化学合成農薬成分が20成分となっています。  
このうち、化学的に合成された肥料及び農薬の使用を慣行の50%以上低減する農法で生産し、残留農薬が国基準の1/10以下となる技術で生産したものを「ひょうご安心ブランド農産物」として認証しています。

<ヘアリーベッチ品種の特徴>  
「藤えもん」: 早生タイプ、生育早く、春まき・水稻極早生向き。開花は4月下旬頃  
「寒太郎」: 晩生タイプ、生育長く、多収。秋まき・水稻中晩生向き。開花は5月中旬頃

表I <基肥量の目安> ※ヘアリーベッチ連作田はこれより減肥してください

10a当たりヘアリーベッチ 生草重量	10a当たり肥料(窒素12%)	
	推定窒素量※1	窒素量※2
3,500kg以上※3	7kg	0kg
3,500～3,000kg	7～6kg	0～1.2kg
3,000～2,000kg	6～4kg	1.2～3.6kg
2,000kg以下	4kg以下	3.6kg～
緑肥無し慣行栽培	-	7.2kg

※1: ヘアリーベッチの窒素成分は、現物kg当たり0.4%、肥効率50%としています。  
※2: 肥料の窒素成分は、12%と仮定しています。  
※3: 生草重3,500kg以上は、田植3週間前より早めに刈り取り、すき込んでください。  
※コシヒカリの場合、生草重量は2,000kg以下(推定窒素量4.0kg以下)としてください。  
※基肥量は、栽培ほ場の前作、地力、排水条件を考慮して調整してください。  
※ヘアリーベッチが生育ムラになった場合は、生育不良の箇所部分施肥します。

<穂肥の目安>  
出穂20～25日前に、葉色が浅い(葉中窒素が低い)場合に施用します。


穂肥	窒素12%肥料	10a当たり10～15kg	窒素量: 1.2～1.8kg/10a
----	---------	---------------	--------------------

※コシヒカリは倒伏しやすいため、基本的に穂肥は不要です。

### <ヘアリーベッチの生育量調査法>

★田植日から逆算して、4～3週間前のヘアリーベッチの生育量から窒素量を推定し、基肥施用量、すき込み時期を決定します。  
★4月上旬以降、気温の上昇とともにヘアリーベッチの生育は急激に増大します。  
(寒太郎の場合、順調であれば4月中旬以降になると1週間で生育量は約1.5倍になります)。  
★ヘアリーベッチの草高が30～40cmまではロータリー耕によるすき込みは可能です。しかし、ヘアリーベッチの草丈が長い場合や、生育量が多いとロータリーに絡みついてすき込みが困難になります。生育量が多い場合は、フレールモア等で細断し、ロータリー耕によりすき込みます。  
**注: モアがない場合は、ヘアリーベッチの草高30cm程度で刈り込み、鋤きこみます。**

ヘアリーベッチの最も繁茂した箇所を50cm×50cmの木枠で囲い地上部を鎌で刈り取る。



刈り取ったヘアリーベッチの生草重量を秤で測定する。

生草重量を1㎡当りに換算する。  
○○○g/(50cm×50cm)を4倍する。  
ほ場全体を見て繁茂率を掛け、1㎡当たり生草重量とする。

表II

50cm×50cmの生草重量	1㎡当生草重量	10a当生草重量
1,125g 以上	4.5kg 以上	4,500kg 以上
1,000 ～ 1,125g	4.0 ～ 4.5kg	4,000～4,500kg
875 ～ 1,000g	3.5 ～ 4.0kg	3,500～4,000kg
750 ～ 875g	3.0 ～ 3.5kg	3,000～3,500kg
500 ～ 750g	2.0 ～ 3.0kg	2,000～3,000kg
500g 以下	2.0kg 以下	2,000kg 以下

1㎡当たり生草重量から、窒素量を算出する。(表I、IIを参照)

\* 栽培暦に記載のない事項については、加古川農業改良普及センターへお問い合わせください。

平成27年3月作成

# ヘアリーベッチ米栽培ごよみ

東播磨農業改良普及事業協議会  
東播磨ヘアリーベッチ米推進会議

品種	月旬	2月			3月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月																				
		下旬	中旬	下旬	下旬	中旬	下旬	下旬	中旬	下旬	下旬	中旬	下旬	下旬	中旬	下旬	下旬	中旬	下旬	下旬	中旬	下旬	下旬	中旬	下旬	下旬	中旬	下旬																		
ヒノヒカリ等中晩生（移植）	緑肥	春まき・覆土「藤えもん」3kg/10a			生育量調査			刈り取りすき込み			※生育量により調整（★必ず生育量調査を実施）												秋まき「寒太郎」、「藤えもん」3kg/10a			※十分な排水対策																				
	ヘアリーベッチ	田植え2~3週間前																																												
	水管理							灌水			除草剤散布後7日間は止め水			落水			入水			浅水			落水																							
	作業				播種			育苗			代かき			田植え			田干し			★茎数20~22本で中干し			★ガス多発時は田干しする			浅水又は間断かん水			中干し			浅水又は間断かん水			出穂			間断かん水			早く落水しない			収穫		
	施肥							基肥			※緑肥量により									穂肥			※稲の葉色により																							
防除	JA水稻栽培暦に準じてください																																													
使用農薬	JA水稻栽培暦に準じてください																																													

**<環境創造型農業とは>**  
農業の自然循環機能の維持増進を図り、環境への負荷を軽減するため、土づくりを基本に、化学的に合成された肥料及び農薬の使用を慣行の30%以上低減する生産方式です。  
兵庫県における水稻の慣行基準は、化学合成肥料の窒素成分が8.5kg/10a、化学合成農薬成分が20成分となっています。  
このうち、化学的に合成された肥料及び農薬の使用を慣行の50%以上低減する農法で生産し、残留農薬が国基準の1/10以下となる技術で生産したものを「ひょうご安心ブランド農産物」として認証しています。

**<ヘアリーベッチ播種>**  
1. ほ場準備  
①ヘアリーベッチは湿害に弱く、排水性のよいほ場、排水対策ができるほ場を選定する。  
②ほ場の表面排水を図るため、周囲溝等を設け、集水・排水性を高める。  
③土壌pHが低い場合は、生育不良となる場合があります。  
2. 播種  
①適期播種  
・秋蒔き：10月下旬～11月上旬  
・春蒔き：2月下旬～3月上旬  
②播種  
・耕起の際、碎土し過ぎないようにし、土塊はやや大きめの状態とする（土塊の隙間に種子が入る）。  
・春蒔き、乾燥しやすいほ場では、播種後に軽く覆土する。

◎兵庫県では、人と環境にやさしい環境創造型農業を推進しています。

◎安全・安心な米づくりのため、栽培履歴を記録しましょう。

**<品種の特徴>**  
「藤えもん」：早生タイプ、生育早く、春まき・水稻極早生向き。開花は4月下旬頃  
「寒太郎」：晩生タイプ、生育長く、多収、秋まき・水稻普通作向き。開花は5月中旬頃

表I <基肥量の目安> ※ヘアリーベッチ連作田はこれより減肥してください

10a当たりヘアリーベッチ	10a当たり肥料(窒素14%)	
	生草重量	施用窒素量※1
4,500kg以上※3	9kg以上	0kg
4,500-4,000kg	9-8kg	0-5kg
4,000-3,500kg	8-7kg	5-10kg
3,500-3,000kg	7-6kg	10-17kg
3,000-2,000kg	6-4kg	17-30kg
2,000kg以下	4kg以下	30kg以上
緑肥無し慣行栽培	-	60kg

※1:ヘアリーベッチの窒素成分は、現物kg当たり0.4%、肥効率50%としています。  
※2:肥料の窒素成分は、14%と仮定しています。  
※3:生草重4,500kg以上は、田植3週間前より早めにすき込んでください。  
※基肥量は、栽培ほ場の前作、地力、排水条件を考慮して調整してください。  
※ヘアリーベッチが生育ムラになった場合は、生育不良の箇所の部分施肥します。

**<穂肥の目安>**  
出穂20~25日前に、葉色が浅い(葉中窒素が低い)場合に施用します。

穂肥	窒素12%肥料	10a当たり10~15kg	窒素量:1.2-1.8kg/10a

**<ヘアリーベッチの生育量調査法>**  
★田植日から逆算して、4~3週間前のヘアリーベッチの生育量から窒素量を推定し、基肥施用量、すき込み時期を決定します。  
★4月上旬以降、気温の上昇とともにヘアリーベッチの生育は急激に増大します。(寒太郎の場合、順調であれば4月中旬以降になると1週間で生育量は約1.5倍になります)。  
★ヘアリーベッチの草高が30~40cmまではロータリー耕によるすき込みは可能です。しかし、ヘアリーベッチの草丈が長い場合や、生育量が多いとロータリーに絡みついてすき込みが困難になります。生育量が多い場合は、フレールモア等で細断し、ロータリー耕によりすき込みます。  
**注:モアがない場合は、ヘアリーベッチの草高30cm程度で刈り込み、鋤きこみます。**

ヘアリーベッチの最も繁茂した箇所を50cm×50cmの木枠で囲い地上部を鎌で刈り取る。

刈り取ったヘアリーベッチの生草重量を秤で測定する。

生草重量を1㎡当りに換算する。○○○g/(50cm×50cm)を4倍する。ほ場全体を見て繁茂率を掛け、1㎡当たり生草重量とする。

1㎡当たり生草重量から、窒素量を算出する。(表I、IIを参照)

表II

50cm×50cmの生草重量	1㎡当生草重量	10a当生草重量
1,125g 以上	4.5kg 以上	4,500kg 以上
1,000 ~ 1,125g	4.0 ~ 4.5kg	4,000~4,500kg
875 ~ 1,000g	3.5 ~ 4.0kg	3,500~4,000kg
750 ~ 875g	3.0 ~ 3.5kg	3,000~3,500kg
500 ~ 750g	2.0 ~ 3.0kg	2,000~3,000kg
500g 以下	2.0kg 以下	2,000kg 以下